

## 週刊 女川湾海況速報 (No.54)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

7 月 29 日から 8 月 2 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

## 観測点



## 小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して全層で水温は上昇したが、塩分は下降。経時的に水温は表層（0m）で下降傾向にあったが、底層（6m）では上昇傾向。期間を通じて 17～21℃台を示した。塩分については表層で上昇傾向にあったが、底層では下降傾向。先週に引き続き、表層の塩分は 30 以下を示した。この低い塩分は湾外から侵入した低塩分水と降水の影響と推定。

水深 [m]	7月29日 (月)	7月30日 (火)	7月31日 (水)	8月1日 (木)	8月2日 (金)
0	21.3 (21.0)	21.1 (22.5)	21.2 (24.4)	20.8 (24.8)	20.1 (25.5)
6	17.6 (31.9)	17.9 (31.5)	17.8 (31.8)	17.9 (31.5)	19.1 (29.0)

水温の単位は℃。

②濁度：先週と比較して全層で下降。経時的に表層の低塩分水内では下降傾向にあったが、底層では上昇傾向。（単位は FTU）

水深 [m]	7月29日 (月)	7月30日 (火)	7月31日 (水)	8月1日 (木)	8月2日 (金)
0	2.4	1.4	1.4	1.4	1.2
6	1.0	1.0	1.7	3.2	4.8

③溶存酸素：先週と比較して表層ではやや下降したが、底層では同程度の値を維持。期間を通じて全層で 6～8mg/l 台を示した。

水深 [m]	7月29日 (月)	7月30日 (火)	7月31日 (水)	8月1日 (木)	8月2日 (金)
0	8.2	8.0	8.3	8.4	8.7
6	6.9	6.7	6.8	6.6	7.2

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

## St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 16.2～21.2℃、23.8～33.2 の範囲にあった。濁度は 0.8～1.9FTU の範囲にあり、表層で最大。溶存酸素は 6.0～8.4mg/l の範囲にあり、底層（20m）で最小。先週に引き続き、表層には塩分 30 以下の低塩分水が存在し、この低塩分水内では濁度と溶存酸素が比較的高い値を示した。

7 月 31 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	21.2	23.8	1.9	8.4
5	18.5	30.3	1.3	7.5
10	16.9	32.7	0.8	6.2
15	16.6	33.0	1.3	6.2
20	16.2	33.2	1.7	6.0

本データの利用については、  
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

[agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp](mailto:agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp)

までお問い合わせください。